

コース29 あかさきやま 赤崎山

リーダー CL S.E. SL N.M.
 実施日 令和3年11月14日(日)
 天候 曇り時々晴れ
 グレード A上~B
 参加者 21人(男性 8 女性13)
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
新津駅		8:41	磐越西線快速あがの 会津若松行き
鹿瀬駅	9:33	9:48	点呼後1班より車道歩き
サイノカミ峠登山口	10:15	10:25	登に備え休憩、お色直し
赤崎山々頂 371.9m	11:30	11:40	集合写真、冠雪した飯豊の大日が見える
天女の花筏	11:48	12:45	お天気良く陽だまりで各々昼休憩
赤湯	13:55	13:57	激下りや沢沿いの道を歩きホットー息
レークサイド角神	14:02	14:15	休憩の後阿賀野川沿いの車道歩き
鹿瀬駅	15:20	15:56	予定乗り早く着き休憩室で団欒
新津駅	17:11		

山行等概要(幹事のコメント)

- 週間天気予報は良かったのに3日前より☁マーク、天気の良く成る事を願いました。前々日の1時間の天気予報崩れるのは夕方からで昼過ぎまで☀マークですので実施する事にしました。
- 新津駅1番線ホームで集合、会津若松行の快速あがのに乗車、五泉駅より3名乗車鹿瀬駅で下車。準備の後車道を歩き途中から国道歩きに成るので走る車も多く気を付けて国道から別れ

サイノカミ峠登山口で登に備えて衣類の調整や行動食を食べる人も、最初は山を巻くようにして歩きますが落ち葉が多く下の石などだ分からず歩きずらくゆっくり紅葉した木を見ながら山頂に着きました。



- お天気も良く山頂からは遠くに冠雪した飯豊の大日岳や雲の上に浮かぶ御神楽岳も見られ眼下には鹿瀬ダムと発電所が見れ集合写真を撮り昼休憩の天女の花筏まで下山昼休憩にしました。
- 天女の花筏前で各々昼休憩、その後赤崎林道を少し歩き途中から赤湯への綺麗に刈り払われた山道を下山、途中にあまり見られない終わり近くのツチアケビを見る事が出来ました。赤湯に下山後すぐ先のレークサイド角神でトイレ休憩の後阿賀野川沿いの車道を1時間余りかけて無事鹿瀬駅に着きました。
- お天気に恵まれ楽しく歩く事が出来ました。参加者の皆さん有り難うございました。



1班のみなさん



2班のみなさん



3班のみなさん

晩秋の「赤崎山」を歩く

1708 T.K.

今日の山行は、JR利用の阿賀町「赤崎山」。以前実施されたようですが、私は、予定が合わず参加できませんでした。なので、とても楽しみにしていました。こここのところ不安定な天気が続く中、晴れマークの14日です。変わらないで！と願っていました。

新津駅発8時41分「快速あがの」会津若松行きに乗るために、それぞれの乗車駅より乗り込み、遠足みたいな気分と思いながら外の景色を眺めていました。電車が阿賀町に入る頃から山々に霧が立ち込め怪しげな天気・・・しかし、雨は夕方からという予報を信じて心配はしませんでした。

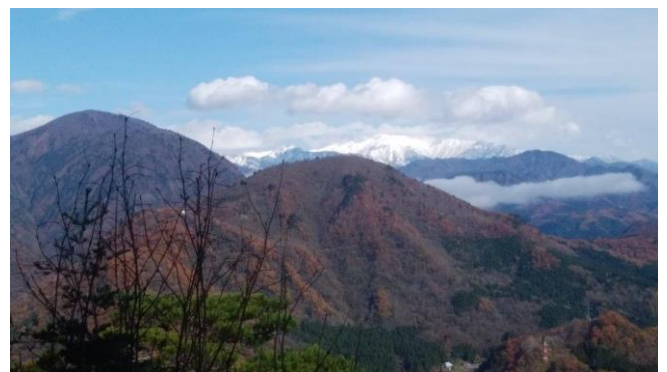
鹿瀬駅に9時33分着。曇り空の下身支度を整え、目の前にある赤崎山を左に見て、ぐる〜と企業の敷地を回り込みながら何とももどかしいですが、「サイノカミ登山口」に着きました。でも、丁度いいウォーミングアップになったかもです。体も温まり一枚脱いで、さあ出発！ 沢山の落ち葉を踏みしめながら歩き、木々は葉を落としてちょっと寂しいけれど、周囲がとてもよく見え、遠くも確認出来て景色を眺める事が出来ました。いつの間にかお日様も顔を出して、赤く鮮やかに染まるモミジが所々で出迎えてくれ、充分残る秋を楽しませてもらいました。登山コースには、「デベソ岩」、「タコけやき」と言うのがあったようですが、タコけやきは、見逃してしまいました。残念・・・。途中「天女の花筏」をスルーして山頂展望台「天空の風」に11時半頃到着しました。どちらもステキなネーミング！ 「赤崎山」371,9mの里山とは言え、ここまでは細く切れ落ちた所あり、滑りやすい所あり、鎖場あり、時々獣のフンありと、足元から目を離せませんでした。低い山と言えどもあなどれません。展望台では、下の方でSLの汽笛が聞こえたので、何処を



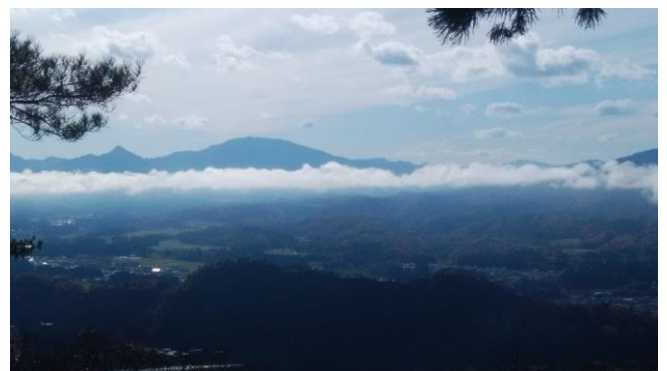
登山口で準備



赤崎山



冠雪した飯豊の大日岳



雲の上に浮かぶ御神楽岳

走っているのか探したけれど、煙しか見えません。がっかりしていたら、タイミング良く煙をはきながら鉄橋を渡るSLを発見！ いい眺めでした。 集合写真を撮り、お昼休憩の「天女の花筏」展望台へ足を進めながらグ〜、

お腹が空きました。 昼食後には、展望台から見える一番奥の、真っ白に雪化粧した山が、「大日岳」だとリーダーに教えて頂きました。そこには何度も登られたと!! そんなエネルギー心と体のどこから湧いてくるのかと思いました。凄いなあの一言です。 班ごとの写真撮影後は、車道を下山し、途中から杉林の中を下る「赤湯登山道」に入りました。いくつかの小さな沢を渡り、赤い「ツチアケビ」なるものも教えて頂き（何でもよく知っている山の先輩方ですね）そして、ちょっと危なそうな板がしなる橋を「ドキドキ」しながら渡り、14時前に温泉のにおい漂う赤湯に到着しました。 温泉はにおいだけ頂いて、その後は、ダムや川の流れ、家並みを眺めながら歩き、おしゃべりと共にひたすら鹿瀬駅をめざしました。 歩いて発見！鹿瀬のマンホールの蓋には鹿が描かれていましたよ。 駅到着は15時15分頃になり、座布団付きの待合室のベンチで休む人、外で休む人、それぞれに休憩し、解散式後電車に乗り込みました。

今日は、風もなく空気はヒンヤリお日様ポカポカの、穏やかな晩秋を楽しく歩いた一日でした。 天気を心配されたリーダー、サブリーダー、班長の皆さんお世話になりました。一緒に歩いて下さった皆さん有り難うございました。



ツチアケビ

ブログ [「YAMAP ウツラ」赤崎山](#)
1315S.E.さんをご覧ください。



鹿瀬ダムと発電所 U字蛇行の阿賀野川



赤崎山林道



赤湯への下山道



赤湯